
令和2年度 事業計画・収支予算

—事業方針と計画の概要—



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 中長期的な事業方針・目指す方向性

VISION
日赤150

「長期ビジョン」
令和2年度(2020年)よりスタート

創立150年に
目指す姿

日本赤十字社が重点的に取り組む社会課題

災害や紛争から人々が守られる社会づくり
人々の健康・福祉を支える地域づくり
互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

長期ビジョンを道標に、人道の実現に向けた活動へ



支援の手が届きにくい分野への貢献



地域医療への貢献



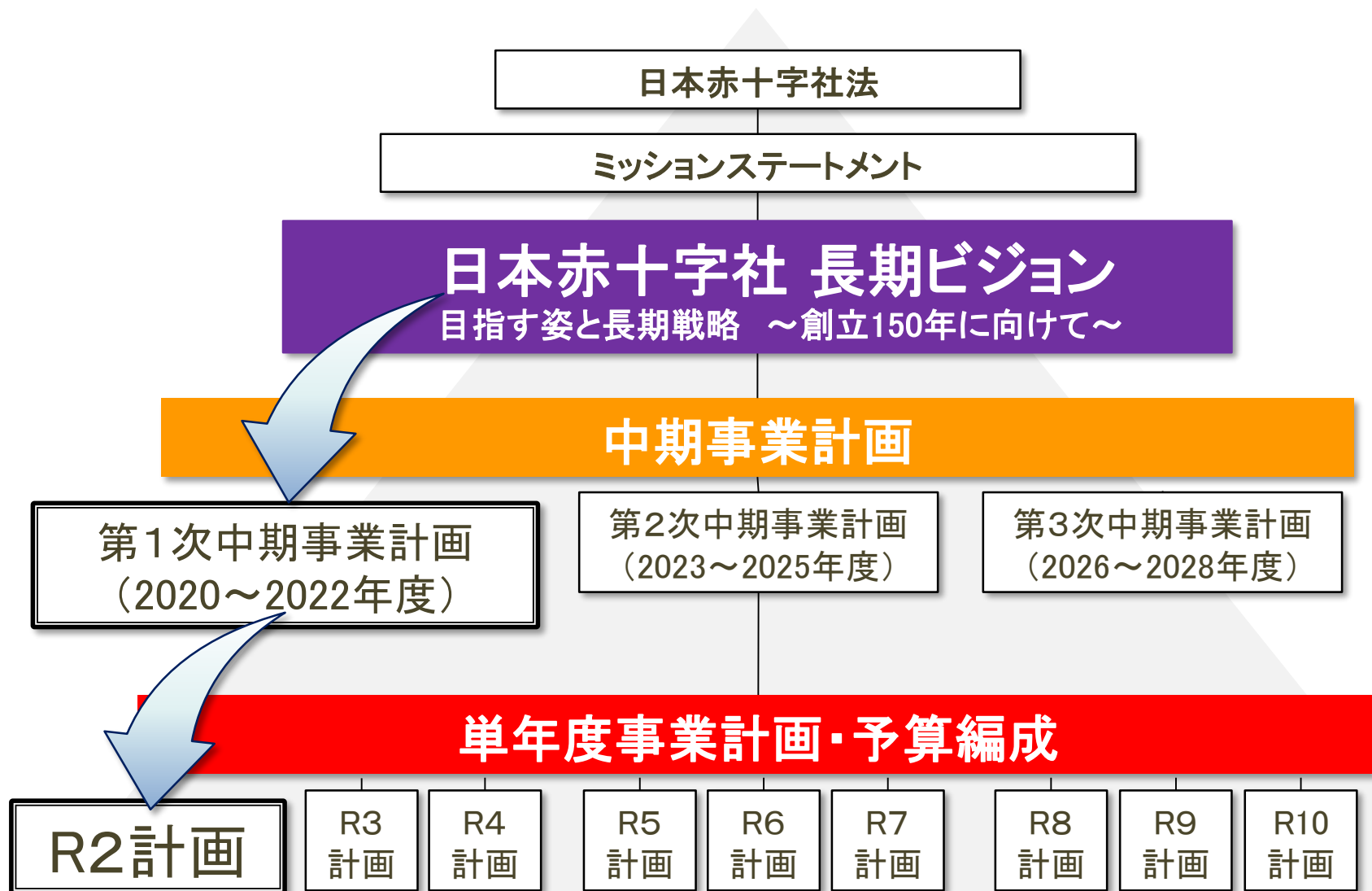
地域で真に必要な社会活動



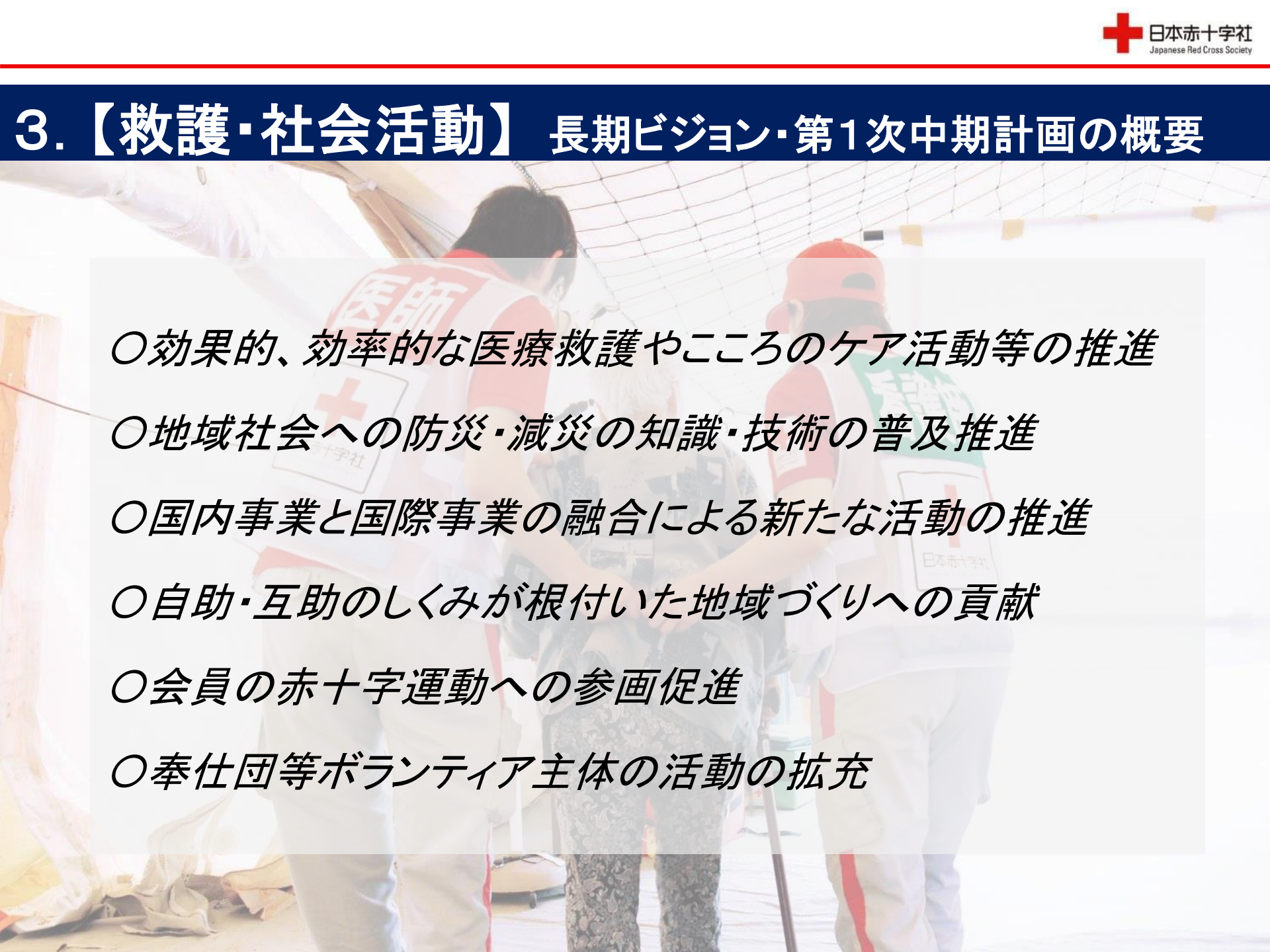
献血血液のビッグデータを活用した社会貢献

国内事業と
国際事業の
融合

2. 令和2年度事業計画策定にあたって



3.【救護・社会活動】 長期ビジョン・第1次中期計画の概要

- 
- 効果的、効率的な医療救護やこころのケア活動等の推進
 - 地域社会への防災・減災の知識・技術の普及推進
 - 国内事業と国際事業の融合による新たな活動の推進
 - 自助・互助のしくみが根付いた地域づくりへの貢献
 - 会員の赤十字運動への参画促進
 - 奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

3.【救護・社会活動】 令和2年度事業計画の概要

※一般会計(本社・支部の予算額を合算)

(1)災害救護

3,052,532千円

- 新たな救護員育成体系等に基づく救護員の育成
- 地域コミュニティにおける防災教育の推進



(2)国際活動

3,301,233千円

- 大規模災害に備える病院ERUの整備
- 地域社会におけるレジリエンスの向上
- 国際赤十字とのさらなる協働



3.【救護・社会活動】 令和2年度事業計画の概要

(3) 社会活動 (講習事業・地域包括ケアの推進等) **2,052,200千円**

- ・ 関係機関との効果的協働に向けた取り組み
- ・ 講習事業におけるボランティアの参画拡大に向けた環境整備の準備



(4) 青少年赤十字事業 **772,796千円**

- ・ 教育現場の課題に対して青少年赤十字の人道教育をより一層活用するための情報収集、状況分析、対応策の具現化
- ・ 青少年赤十字創設100周年を記念したメイン事業の構築
- ・ 国際交流事業を通じた海外での人道教育の推進

3.【救護・社会活動】 令和2年度事業計画の概要

(5)運動基盤強化／会員・社資 3,360,202千円

- ・ 既存の地区分区を通じた会員募集に加え、義援金・救援金協力者への依頼拡大、会員向け新会員誌のサンプル作成
- ・ 法人とのパートナーシップの推進、遺贈等受入体制の拡充
- ・ 会員及び支援者データの新管理システムの試行的運用

(6)運動基盤強化／ボランティア 749,193千円

- ・ ボランティア指導講師による支援促進、指導体制の拡充
- ・ ボランティアの経歴・活動内容把握に向けた要件整理
- ・ 多様なボランティアの活躍に向けたリーダー研修の強化

4.【社会福祉事業】 長期ビジョン・第1次中期計画の概要

○社会福祉施設を通じた地域への福祉サービスの向上

- 適切な人材確保のための情報収集及び研究等を踏まえた新たな人材確保対策の実行
- 奉仕団等ボランティアの活動範囲の再検討及び事業運営への参画促進
- 地域ニーズの再確認及び活動の方向性の明確化を踏まえた地域貢献活動の強化

4.【社会福祉事業】 令和2年度事業計画の概要

収入 195億円^(前期繰越分を含む)／支出 153億円
(社会福祉施設特別会計) 差引額 41億円

(1)社会福祉施設の経営改善

- ・ 課題改善の研修会の開催、サービスの安全性と質の向上を目的とした専門研修の受講促進等

(2)人材確保・研修体制の構築

- ・ 地域の実情を踏まえた人材確保の実現に向けた課題の検証
- ・ 施設職員の研修体制の構築に向けた課題の検証

4.【社会福祉事業】 令和2年度事業計画の概要

(3) ボランティアの活動範囲の拡大

- 施設職員の専門性を最大限に発揮できる体制の構築に向けた課題の検証



(4) 地域貢献活動の強化

- 地域の社会福祉ニーズの再確認及び新たな活動の検討



5.【医療事業】 長期ビジョン・第1次中期計画の概要

○地域医療構想への積極的関与

○医療救護体制の強化

○地域包括ケアシステムに対応できる人材の育成

○医療の質の向上と経営の安定化

○赤十字の理念を実践できる看護師の養成

5.【医療事業】 令和2年度事業計画の概要

収益的収入/支出 1兆1,245億円/1兆1,311億円
(医療施設特別会計) 差引額△66億円

(1)地域医療に貢献できる病院運営の推進

- 地域医療構想への対応
- 地域包括ケアシステムに対応できる人材の育成
- 災害に強い病院(組織体制)づくり

(2)質の高い安全な医療の提供及び医療サービスの質の向上

- 高齢化への対応～転倒・転落防止、せん妄の対応～
- 院内感染管理体制の強化
- 外国人患者受け入れ体制の強化

5.【医療事業】 令和2年度事業計画の概要

(3) 経営の安定化

- 投資判断基準に準拠した健全かつ魅力ある施設設備投資の推進
- グループメリットを活かした購買力の強化



(4) グループ組織基盤・連携の強化

- 医師派遣のための連携強化及び協力体制の構築
- 医療経営データの集約と活用

6.【血液事業】 長期ビジョン・第1次中期計画の概要

○献血の意義と社会への貢献が実感できる広報展開

○効果的に献血協力依頼を行う仕組みの確立

○輸送体制の合理化と利活用

○血液製剤の安全性と品質の向上

○バイオリソース・ビッグデータの活用を通じた国民の健康増進への貢献

6.【血液事業】 令和2年度事業計画の概要

収益的収入/支出 1,639億円/1,607億円
(血液事業特別会計) 差引額 32億円

(1)必要血液量の確保対策の実施

- ・ 若年層を中心とした献血の普及・啓発
- ・ 献血予約制の推進



(2)供給部門における体制・業務の見直し

- ・ 血液製剤の新たなWEB発注システムの導入と推進
- ・ 血液製剤の定時配送体制の確立

(3)血液製剤の安全対策の実施

- ・ すべての献血血液に対するE型肝炎ウイルス検査の実施

6.【血液事業】 令和2年度事業計画の概要

(4)造血幹細胞事業の推進

- ・ 日赤運営の臍帯血バンクにおける公開臍帯血数の増加に向けた臍帯血の調製基準や運用手順の見直し

(5)国際協力・海外交流の実施

- ・ 「アジア赤十字・赤新月血液事業フォーラム」の開催

(6)新たな事業の展開

- ・ 研究者への献血血液の保管検体に関する情報の公開

(7)事業の効率的運営の推進

- ・ RFIDを活用した新たな血液事業の仕組みの構築
- ・ 情報通信分野の先進技術の活用による業務の省力化

7. 令和2年度収支予算の概要

総額 1 兆3,681億円
(歳出予算の合算)

